

獨協医科大学日光医療センター

新病院 基本構想書

2019年7月

■ 目次

- I. 獨協医科大学日光医療センターの現況について
- II. 新病院移転の目的と背景について
- III. 新病院が目指す姿について
- IV. 新病院の基本情報について
- V. 新病院建物計画について
- VI. 新病院整備スケジュールについて

I. 獨協医科大学日光医療センターの現況について

- 所在地 : 栃木県日光市高德632番地
- 開設年月日 : 2006年4月1日
- 統括管理者 : 中元 隆明
- 病院長 : 安 隆則
- 病床数 : 199床(一般189床、地域包括ケア病床10床)
- 診療科目 : 呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、
糖尿病・内分泌内科、膠原病・アレルギー内科、心臓・血管・腎臓内科、
皮膚科、放射線科、外科、呼吸器外科、心臓・血管外科、整形外科、
形成外科、泌尿器科、麻酔科、病理診断科
観光医療科、三依診療所、感染症内科



I. 獨協医科大学日光医療センターの現況について

➤ 指定医療告示種別

1. 救急告示病院(2006年4月1日指定)
2. へき地医療拠点病院(2006年4月1日指定)
3. 労災保険指定病院(2006年4月1日指定)
4. 生活保護法指定医療機関(2006年4月1日指定)
5. 原子爆弾被害者一般疾病指定医療機関(2006年4月1日指定)
6. 指定自立支援医療機関(2006年4月1日指定)
7. 身体障害者福祉法指定医配置医療機関(2006年4月1日指定)
8. 結核予防法に基づく指定医療機関(2006年4月3日指定)
9. 二次救急病院輪番制参加病院(2006年5月6日開始)
10. DPC 対象病院(2010年7月1日)
11. 指定自立支援医療機関(精神通院医療)(2013年4月1日指定)
12. 栃木県がん治療中核病院(2013年12月25日指定)
13. 難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項の規定による指定医療機関(2015年1月1日)
14. 地域災害拠点病院(2016年3月31日指定)
15. 栃木県 DMAT 指定病院(2016年3月31日指定)
16. 地域医療支援病院(2019年4月1日指定)

➤ 現在地と新病院建設予定地の比較

病院は現在地より10km 程度南下した地点での建設を予定している。



II. 新病院移転の目的と背景について

《 現状の課題・問題 》

➤ 施設面

1. 既存施設は建設から1号館:33年、2号館:52年がそれぞれ経過し、老朽化が進んでいる。
2. 駐車場不足等課題が発生しているのに対し、踏切と鬼怒川に挟まれた現在の土地では発展性がなく、拡大・建替えが難しい。
3. 職員寮についても同様に老朽化や部屋数不足が発生しており、教育環境・生活利便性に課題がある。
4. 現在の日光市全域から見ると鬼怒川地区に偏り過ぎており、広域な日光市全体をカバーする地域医療充実の観点から、移転する必要性が高い。
5. 東武鬼怒川線踏切が病院正面に位置しており、救急車が踏切につかまってスムーズに病院に到着することができない場合がある。

➤ 人材面(医師・看護師等)

1. 患者、教職員の利便性が悪い。日光市街地の外れに位置しており、市の中核病院として位置が悪いことから医療スタッフの採用に課題がある。
2. 新専門医制度(内科領域)における基幹施設であるため、専門研修プログラムに対応し、若手医師(専攻医等)の育成を行う必要がある。

《 新病院移転に期待される効果 》

➤ 新日光医療センターの大きな可能性

新病院ではアクセスの改善により、日光市内から他の二次医療圏へ流出している患者の一部取り込みが期待でき、日光地区での完結率向上と観光客への医療提供等で日光市の中核病院として更なる発展が期待できる。また、交通の利便性向上による医療スタッフの採用改善も期待できる。

➤ 最適な候補地と新病院建設の好機

現病院から約10キロという距離で、広さ(22,500坪)も十分かつ、澄んだ自然に囲まれたロケーションで災害に強い場所に移転することで、災害拠点病院に求められる災害に強い病院づくりが可能となる。

➤ 先進的で技術レベルの高い急性期中核病院

新病院移転を機に地域医療支援病院としての役割を強化する。また、救急面でも受け入れ態勢を整備・充実し、地域に求められる医療機能を新設し、中核病院として地域医療に貢献する。

Ⅲ. 新病院が目指す姿について

《 新病院コンセプト 》

「安心・安全を届ける基幹病院」

すべての人にやさしい医療を提供します

質の高い医療を提供します

《 新病院整備方針 》

- 栃木県、日光市、地元医療機関等と共同歩調を取りつつ、地域医療構想に則り、将来にわたり日光地域の中核病院として機能する。
- 急性期医療の中核病院として、他病院との機能分化・連携を進める。
- 救急受入体制の充実を図るとともに、へき地医療を継続する。
- 地域医療環境に鑑み、現在の診療科に加え、地域連携を軸に地域に必要な診療科を常に検討するとともに、継続的に病院機能の充実を図る。
- 世界的観光地に拠点を構える医療機関として、国内外の観光客に安心・安全を担保する。

《 基本理念 》

「地域社会の信頼に応える基幹病院として、

医療を求める人々におもいやりの心を持って接し、

高度で良質な医療を提供します。」

《 基本方針 》

- 安全で安心な医療を実践します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- チーム医療を実践し、質の高い医療サービスを提供します。
- 地域の保健医療向上へ貢献します。
- 災害拠点病院として地域医療に貢献します。
- 人間性豊かな医療人を育成します。
- 職員が誇りを持って働ける職場づくりを実践します。

IV. 新病院の基本情報について

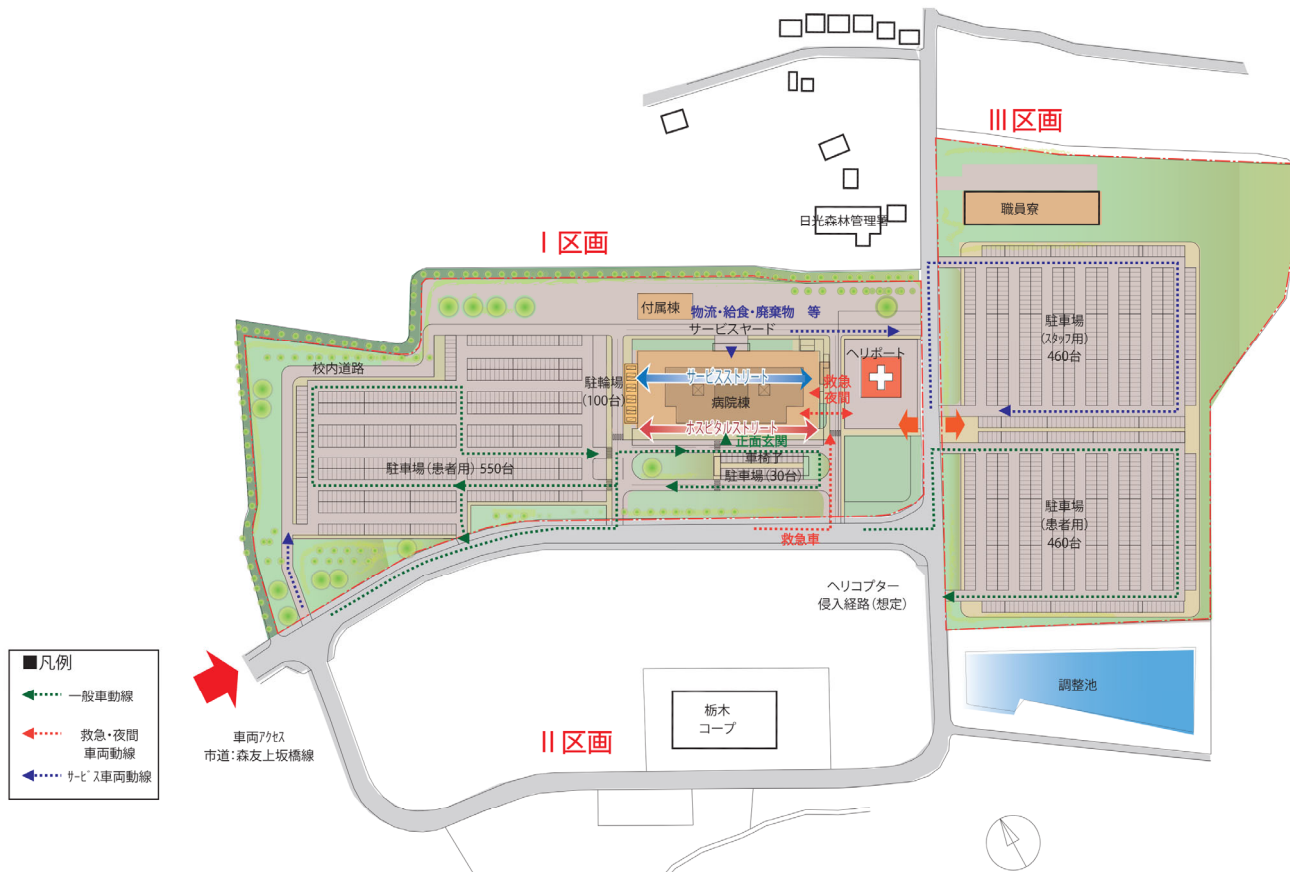
- 所在地 : 栃木県日光市土沢・森友
- 開設年月日 : 未定
- 統括管理者 : 中元 隆明
- 病院長 : 安 隆則
- 病床数 : 199 床(HCU:4 床、重症病床:10 床)
- 診療科目 : 呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、
糖尿病・内分泌内科、膠原病・アレルギー内科、心臓・血管・腎臓内科、
皮膚科、放射線科、外科、呼吸器外科、心臓・血管外科、整形外科、
形成外科、泌尿器科、麻酔科、病理診断科、
観光医療科、三依診療所、感染症内科

※眼科・総合診療科を新設予定
※小児科・産科については継続的に検討していく予定
- 患者数 : 外来患者数／日 415 名
(2018 年度実績を記載) 入院患者数／日 168 名
病棟稼働率 84% (168÷199×100)
平均在院日数 14.8 日 (転科・転棟・外来死亡者数を除く)
- 病院機能 : 地域の中核病院として急性期医療を継続
地域医療支援病院として地域に求められる医療提供を継続
地域災害拠点病院、栃木県 DMAT 指定病院として災害時対応を継続
へき地医療拠点病院としてへき地医療を継続
日本有数の観光地である日光市の病院として、観光医療を継続
地域医療連携推進法人参加機関として、地域医療機関との連携強化
実習受入教育機関として、医療人の育成を継続

V. 新病院建物計画について

《 配置計画 》 ※検討中

➤ 面積 : 7.5ha



※本配置イメージは、基本構想段階の想定図のため、今後計画の進行状況及び詳細検討で変更の可能性があります。

〈 その他付帯機能 〉

- 職員寮 : 100室以上の建物を設置
- ヘリポート : 病院外同一敷地内に設置

VI. 新病院整備想定スケジュールについて

